

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年8月24日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	30週	31週	32週	33週	警報レベル		注意レベル
	7月24日～7月30日	7月31日～8月6日	8月7日～8月13日	8月14日～8月20日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	59 19.67	87 29.00	123 41.00	135 45.00	-	-	-
RSウイルス感染症	0	1 0.50	0	2 1.00	-	-	-
咽頭結膜熱	0	2 1.00	1 0.50	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	1 0.50	0	1 0.50	8	4	-
感染性胃腸炎	5 2.50	13 6.50	3 1.50	3 1.50	20	12	-
水痘	0	0	0	0	2	1	1
手足口病	18 9.00	19 9.50	12 6.00	2 1.00	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	1 0.50	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	10 5.00	5 2.50	7 3.50	3 1.50	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	1 0.50	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	◎	-
備考	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所から

【 定点把握対象疾患 】

- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しています。
- ・ 感染性胃腸炎は前週と同じ発生数です。
- ・ 手足口病は前週より減少し「警報レベル」を脱しました。
- ・ ヘルパンギーナは前週より減少しています。

【 集団発生情報 】

保育所において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防や拡大防止に努めましょう。

【 感染症コラム ～正しい換気方法～ 】

- ・ 空気を汚す物質(二酸化炭素(CO₂)、一酸化炭素、ホルムアルデヒド、粉塵、ウイルス等)が除去されないような密閉空間に呼吸器感染症にかかっているヒトが滞在すると、空気中のマイクロ飛沫(病原体を含む唾液などが乾燥し小さくなった微粒子)が増加します。そのため、同様な条件下では空間におけるウイルス濃度が増加し、結果的に感染リスクが高くなります。
- ・ 厚生労働省は、事務作業等におけるCO₂濃度上限の目安である1000ppmを基準に、空間における必要換気量の目安を30m³/h・人としています。
- ・ 機械換気設備が導入されていない建物等で換気するには、下記のポイントが重要です。
 - ① 換気回数を毎時2回以上(30分に1回以上、数分間程度窓を全開する)とする。
 - ② 空気の流れを作るため複数の窓がある場合、二方向の壁の窓を開放する。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>